



学校だより

ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番地 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立
旭小学校
第10号
令和8年
1月27日

TEL 0561-53-2035

AIをどう捉えていくか

新年がスタートして1か月経とうとしています。保護者・地域の皆様におかれましては、今年も本校の教育活動に温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、年末に発行した本おたより第9号にて、馬にまつわる言葉の3つの中でAIが創作したものが1つありました。終業式に子どもたちにクイズとして出題したところ早速、調べる子がいたと聞き、関心の高さを感じました。ご家庭でも話題にしていただけでしょうか？

AIの創作は、下記の部分です。

・「千里の馬も一歩から」

速く走れる馬でも、最初の一歩から始まるという意味で、努力の積み重ねの大切さを表しています。

これは、「千里の道も一歩から」(意味:遠大な事業も手近なことの積み重ねからなる)と「千里の馬は常にあれども伯楽は常にあらず」(意味:世の中に有能な人はたくさんいるが、その才能を見いだせる人物は少ない。)を掛け合わせたようです。それにしても、本当に存在するかのように説明もされています。

世の中にはAIと生成AIがどんどん広がっています。ゲームやスマートフォンなどにも搭載された機器が見られます。そして、子どもたちが大人になる頃には、その活用ができることが当たり前になっていることでしょう。私たち大人が過ごしてきた子どもの時代とは、環境が全く異なっています。だからこそ、「AIは危険なもの=使わせない」ではなく、「AIは便利なもの=発達段階に応じて使っていく」という意識が必要になってきます。しかし、情報リテラシーなどのルールを守ることと、使う前に必要な力を身につけていることが大前提になります。

未来に目を向けてみましょう。正解がある問題に対して、できるだけ早く「正解」を導き出そうとする情報処理力はAIにとって代わると言われています。そこで、これから求められるのは、**情報編集力**(情報を吟味する)です。この力の獲得には、① 読解力(正しい理解) ② 論理力(説得、議論する力) ③ 数字力(分析する)が必要な要素になります。ぜひ、子どもたちの未来を見据えて、ご家庭でも①~③を意識した学習の支援をお願いします。学校とご家庭で一緒に「伯楽」を目指していきましょう。

校長 岩下 徹

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ <お知らせ> ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

○【御礼】多くの方に見ていただいています！

日頃の子どもの様子を学校ホームページにてタイムリーにお知らせし、毎日の閲覧者数も200人を超え好評をいただいております。また、学校の基本方針も掲載していますので、ご確認ください。

<https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

